

共済組合における医療費分析結果 ③

データヘルス計画の策定に伴い、当組合における医療費状況等の分析を行いましたので、『共済だより』により分析結果をお知らせしています。

今回は、歯科系疾患における医療費の状況について掲載しています。

平成 26 年度における疾病分類別医療費の上位は、表 1 及び 2 のとおりです。そのうち、歯科系疾患に係る医療費は、新生物疾患や呼吸器系疾患に次いで医療費が多く、組合員の医療費全体の約 10%、被扶養者の医療費全体の約 8% を占めています。

表 1 平成 26 年度における、組合員の疾病分類別医療費

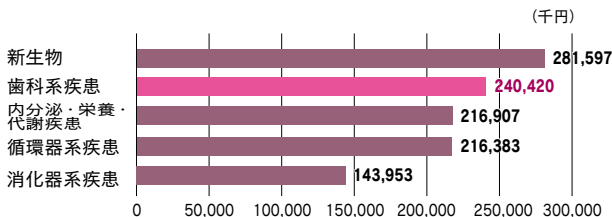
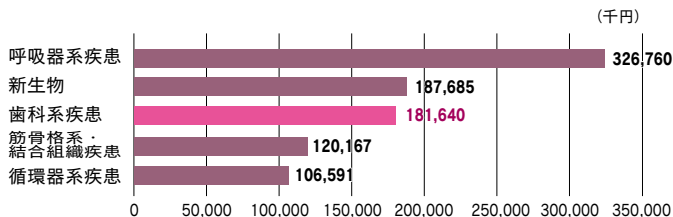


表 2 平成 26 年度における、被扶養者の疾病分類別医療費



※表の組合員には任意継続組合員を、被扶養者には任意継続組合員被扶養者を含みます。

また、組合員、任意継続組合員及び被扶養者の平成 26 年度における 1000 人あたりの歯科医療費レセプト件数は、表 3 及び表 4 のとおりとなります。組合員については、年齢が上がるにつれレセプト件数（受診日数）が多くなり、被扶養者についても 50 歳代から 60 歳代にかけての件数が多くなっています。

歯科疾病については、病気という印象が少ないため重症化しやすい傾向があり、重症化してから受診した場合、長期に渡って治療が必要となるケースが多く、受診者の負担が大きくなります。

歯科疾病の予防及び重症化を防ぐためにも、定期的に歯科健康診査を受診するなど、日常的に歯科健康状態を確認するようにしてください。

なお、組合員（任意継続組合員を除く。）については、当組合で歯科健康診査事業（16 ページ参照）を行っておりますので、ご利用ください。

表 3 平成 26 年度における、組合員 1,000 人あたりの歯科医療費レセプト件数

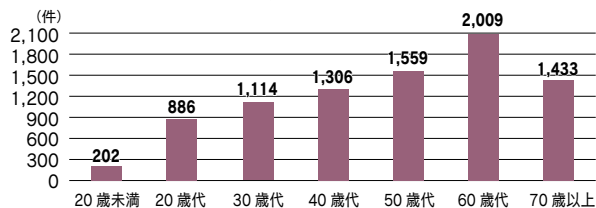
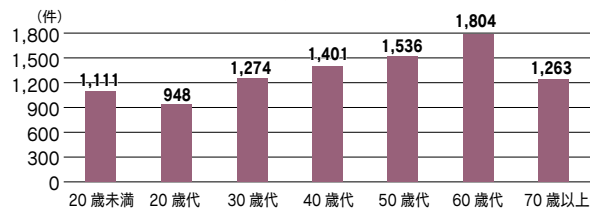


表 4 平成 26 年度における、被扶養者 1,000 人あたりの歯科医療費レセプト件数



※表の組合員には任意継続組合員を、被扶養者には任意継続組合員被扶養者を含みます。